

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第3区分

【発行日】令和2年4月16日(2020.4.16)

【公開番号】特開2018-173214(P2018-173214A)

【公開日】平成30年11月8日(2018.11.8)

【年通号数】公開・登録公報2018-043

【出願番号】特願2017-70984(P2017-70984)

【国際特許分類】

F 24 F 13/22 (2006.01)

【F I】

F 24 F 1/00 3 6 1 B

【手続補正書】

【提出日】令和2年3月3日(2020.3.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

熱交換器から滴下する水を受ける流水路と、  
該流水路から導かれた水を受けるドレンパンと、

を備えている空気調和装置の室内機であって、

前記流水路は、長手方向の一方向に向かって全体が傾斜するとともに、該長手方向に直交する幅方向の一方向に向かって全体が傾斜する底面を有し、

前記底面は、前記熱交換器の下端が設置された熱交換器設置面よりも下方に位置し、

前記熱交換器設置面は、前記長手方向において、前記幅方向の寸法が小さくなる凹部と該寸法が大きくなる凸部とを有し、

前記熱交換器設置面と前記熱交換器の下面との間には、遮風部材が設けられ、

前記遮風部材は、前記熱交換器設置面の形状に略一致した形状とされていることを特徴とする空気調和装置の室内機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

さらに、本発明の空気調和装置の室内機では、前記熱交換器設置面は、前記長手方向において、前記幅方向の寸法が小さくなる凹部と該寸法が大きくなる凸部とを有し、前記熱交換器設置面と前記熱交換器の下面との間には、遮風部材が設けられ、前記遮風部材は、前記熱交換器設置面の形状に略一致した形状とされている。